

ジャパンオープン2010 [長水路]
JAPAN OPEN 2010

監督者会議 資料

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2010年度(財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 進行は、タイムスケジュール通りに行う。
- (3) 男子 1500m 自由形および女子 800m 自由形はタイムレース決勝（最終組は決勝時に行う）、それ以外の種目は、予選とB決勝・決勝を行う。
- (4) 予選は10コース、B決勝・決勝（タイムレース決勝は最終組のみ）は8コースで行う。
- (5) B決勝・決勝進出について、予選の結果、上位8名が決勝に、9位から16位の選手がB決勝に出場できる。棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (6) B決勝・決勝進出について、同記録で予定人員より増加した場合は、抽選を行う。
- (7) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は3名とする。
- (8) 本大会は、国際大会の代表選考会を兼ねるため、外国籍の競技者は予選のみ出場することができる。外国籍選手は、監督者会議後に申告すること。
- (9) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため招集には、ADカードを持参すること。招集所で水着の確認を行う。
- (10) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当該競技開始1時間前までに招集所に届け出ること。無断で棄権した場合は、罰金3,000円を徴収する。B決勝・決勝を棄権する場合には、その予選競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて届け出ること。
タイムレース競技の棄権は、競技実施日の午前9時までに届け出ること。
- (11) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (12) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (13) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (14) 競技成立後は、折返し監察員の指示によりプール横から退水すること。但し、決勝1位の選手は、自分のコースから退水し、ただちにフラッシュインタビューを受けること。
- (15) 予選は組のみの紹介、B決勝・決勝はコース紹介を行う。
- (16) 本大会は、B決勝・決勝ならびに表彰時に、ビブス着用は実施しない。
- (17) 本大会は、上訴審判団を設置する。

2. 表彰について

- (1) 1～3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4位～8位に賞状を授与する。
- (2) 決勝競技終了後、選手のクールダウンはすべて表彰後、サブプールとする。
- (3) 賞状の受取りと、IDカードによる記録証の発行は、更衣室入口前で行う。
 記録証の発行時間 予選競技開始～予選終了後1時間
 決勝競技開始～決勝終了後30分

3. 全体スケジュール

日時	事項	開門時刻	予選競技 開始時刻	予選競技 終了予定	決勝競技 開始時刻	決勝競技 終了予定	閉門時刻 (予定)
6月3日(木)	公式練習日	11時00分	公式練習 (11時～18時)				18時15分
6月4日(金)	1日目	7時15分	9時00分	15時41分	17時00分	19時59分	20時45分
6月5日(土)	2日目	7時15分	9時00分	15時07分	16時00分	19時21分	20時10分
6月6日(日)	3日目	7時15分	9時00分	13時27分	15時50分	17時40分	18時25分

6月4日(金) 16時40分～ 開始式・エコ大賞授与式

6月5日(土) 15時40分～ シンクロ代表選手発表

4. プールの使用について

(1) メインプール

- ①水温は 27.5 度に設定する。
- ②練習は競技開始 15 分前までとする。
但し、1 日目の決勝開始前は式典等のため、20 分前までとする。
- ③昼休みの練習は、当日の B 決勝・決勝出場者（タイム決勝最終組を含む）のみ利用できる。
- ④ 2・3 コースは、ペースコースとする。
- ⑤ 1・10 コースは、ダッシュコースとする。但し、1 コースは、折返し側からスタート、10 コースは、スタート側からスタートとし、一方通行とする。（人数により順次 9 コース以下増設する）
- ⑥ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑦公式スタート練習は、8 時 00 分～8 時 45 分に行う。
※公式練習日の 6 月 3 日(木)は、16 時 00 分～17 時 00 分に行う。

(2) サブプール

- ① 1 コース・2 コースをダッシュコースとする。（水深が 1.2m なので注意すること）
- ② 7 コースをペースコースとする。
- ③競技中の笛の使用は禁止とする。

5. 水泳場の使用について

- (1) 本大会は有料入場のため、朝の開門時のみ 2 階入口となり、7 時 30 分以降のすべての入退場はレストラン側とする。
- (2) 選手席・付添席は、ダイビングプール側のスタンド席と運河側プールサイドとする。
- (3) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (4) 選手・付添いエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (5) AD カードを使用する。AD カードは、館内にいる時は常時首からさげていること。また、入退場の際は、必ず AD カードを提示して係員の指示に従うこと。
- (6) ロッカーを使用することが出来る。但し、控え場所としての使用及び飲食は禁止する。
※鍵を紛失した場合は、鍵の交換費用として実費 5,000 円を負担しなければならない。
- (7) 更衣室のロッカーは、競技終了後は毎日荷物を持ち帰ること。
※置き荷物は、忘れ物として扱う。また、全日程終了後、残った忘れ物は処分する。

6. 注意事項

- (1) 選手は、ドリンクステーション（サブプール並びに更衣室入り口）にて、ドリンクサービスを受けることができる。
- (2) 全ての競技者は、競技終了後、予選・B 決勝・決勝・タイム決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (3) 決勝競技終了後、すべての選手権獲得者に対し、フラッシュインタビューを実施する。
- (4) サブプールにリザルトモニターを設置する。
- (5) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設ける。
- (6) 盗難防止のための貴重品の保管については各選手・監督の責任において管理すること。
- (7) スタートリストを販売する。予選 200 円、決勝 100 円。
- (8) 入場抽選は、監督者会議終了後 3 日間分をまとめて行う。

7. その他

- (1) テレビ朝日にてテレビ放映を行う。6 月 6 日(日) Get Sports 内を予定。
- (2) 競技で着用する水着および記録の公認について
- (3) ワールド・スイム・アゲインスト・マラリアについて
- (4) 競技結果を、SEIKO 競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>) 及び日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://j-swim.jp/>) にて確認することができる。

以上

ジャパンオープン2010 [長水路]
JAPAN OPEN 2010

監督者会議 式次第

日時：平成 22(2010)年 6 月 3 日(木)
15:00～

場所：東京辰巳国際水泳場内会議室

司会進行：藤森 克悦
((財) 日本水泳連盟 競技委員)

- | | | |
|-----------|-----------------------|-----------|
| 1. 挨拶 | 財団法人日本水泳連盟 会長 | 佐野 和夫 |
| 2. 歓迎の言葉 | 東京都水泳協会 会長 | 濱出 雄三 |
| 3. 代表選手選考 | 財団法人日本水泳連盟 常務理事・競泳委員長 | 上野 広治 |
| 4. 競技について | 財団法人日本水泳連盟 理事・競技委員 | 審判長 鈴木 浩二 |
| 5. 注意事項 | 財団法人日本水泳連盟 競技委員 | 藤森 克悦 |
| 6. その他 | 財団法人日本水泳連盟 常務理事・競技委員長 | 安部 喜方 |
| 7. 質疑応答 | | |
| 8. 環境について | | |